

## 3月定例会

3月定例会は、3月3日から25日までの23日間の会期で開催しました。

初日には、町長が新年度予算の概要と施政方針「選択と集中で未来の子どものために、住みよいまち、住みたくなるまちを目指して」と、町政の基本的な考えを表明。

平成21年度10会計の当初予算をはじめ、平成20年度補正予算、条例の制定や改

正など32件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

その他、陳情1件、請願2件を審議し、陳情を採択、請願を不採択としました。

議員提出議案として、意見書の2件が提出され可決しました。

平成21年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、2日間かけ集中審議し、すべて可決しました。

一般質問では、7議員が町政全般にわたり厳しく問いただしました。

## 予算の内容

予算の規模は、一般会計、特別会計と企業会計合わせて、200億1293万円で、前年度より9億3633万円の減額となりました。

一般会計は、総額122億8000万円で、前年度より10億7800万円の減額。

町税の総額は、76億6173万円で、前年度より13億4637万円の減額となり、特に法人町民税

は、自動車関連企業の業績不振により18億円の大規模減となりました。固定資産税は、大規模償却資産にかかる課税権が県から戻り6億3000万円の増額となりました。

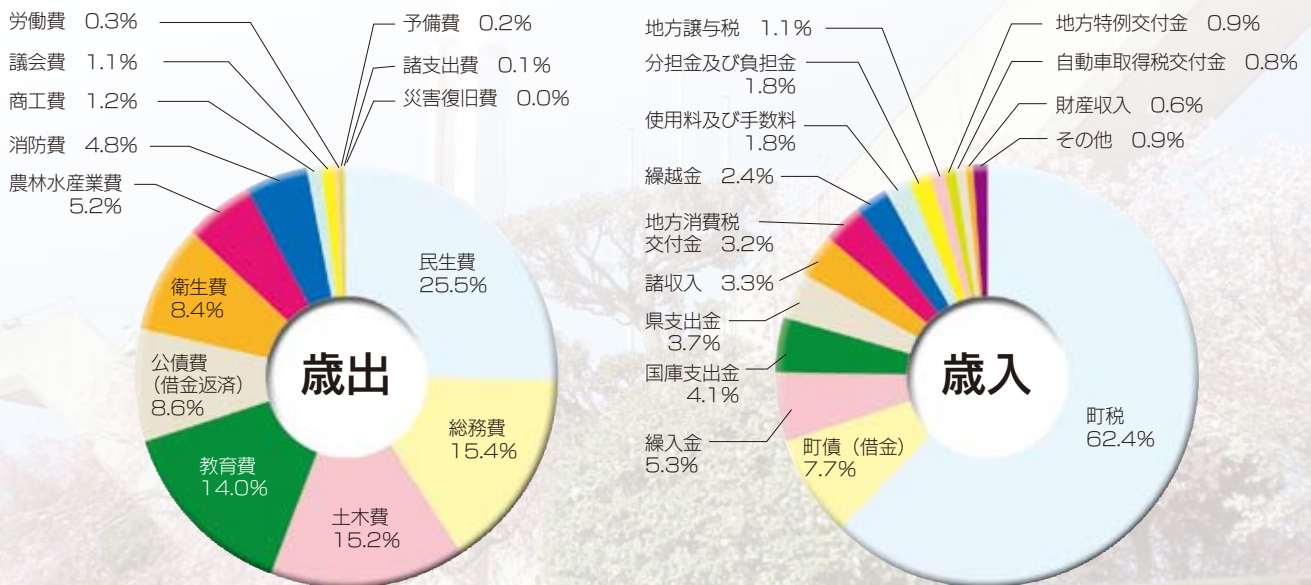
借入れ金は、町税の減収を補てんする臨時財政対策債5億円を含め、9億5100万円となりました。

特別会計では、後期高齢者医療制度に移行した老人保健が、2億4572万円の減額となりました。

# 緊縮型 予算で最大の効果を

# 8,000万円

## 景気後退の影響で法人町民税18億円の減



〔一般会計予算の割合〕

各会計別の当初予算額と採決状況

(▲は減)

会計区分		予算額	前年度比 (%)	採決の状況
一般会計		122億8,000万円	▲8.1	反対2：賛成13で可決
特別会計	土地取得	4億5,606万円	▲6.9	全員賛成で可決
	国民健康保険	29億1,242万円	11.4	反対2：賛成13で可決
	老人保健	2,077万円	▲92.2	反対2：賛成13で可決
	後期高齢者医療	2億4,032万円	▲2.8	反対2：賛成13で可決
	介護保険	12億3,432万円	7.6	反対2：賛成13で可決
	幸田駅前土地 区画整理事業	2億7,655万円	1.0	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	4億5,693万円	22.6	反対2：賛成13で可決
	下水道事業	9億2,444万円	▲8.1	反対2：賛成13で可決
水道事業 会計	収益的支出	6億8,710万円	▲0.3	反対2：賛成13で可決
	資本的支出	5億2,402万円	8.3	
合計		200億1,293万円	▲4.5	

平成21年度

# 一般会計予算 122億

**内田 等 議員 賛成**

歳入では未曾有の世界的経済不況により、法人町民税・個人町民税・固定資産税の家屋分など減額となったが、大規模償却資産の課税権が県から戻り、国庫支出金・県支出金・繰入金・町債・臨時財政対策債などを見込まれ、先の見えないなか、将来の行財政需要を見極めた堅調な運用である。

歳出では幸田駅前区画整理・新駅と自由通路設置および周辺整備・障害者地域活動支援センター建設・給食センター移転改築など各般にわたりバランス良く、前向きな政策を評価する。



**反対 丸山千代子 議員**

アメリカに端を発した金融危機は、世界的な経済不況となり派遣切りで職と住いを失う労働者が急増。町財政も法人町民税が前年度の10分の1、2億円に激減した。深刻な経済状況に、新駅の設置・建設に52億円の巨費投入は、町財政を危機におちいれるもの。

子育て世代を中心に、学校給食費の値上げ、修学旅行、スポーツ共済、部活動補助削減による負担増。夏まつり、凧揚げ、健康福祉まつり、駅伝の中止は元気をうばう。

新駅建設は先送りし、町民生活への負担転嫁の見直しを求め反対の立場をあきらかにする。



# を アップ



(仮)障害者地域活動  
支援センターの建設  
第2授産所として、作業所  
の拡大。 9008万円



(仮)子ども権利条例の策定  
子どもの意見を取り入れ、「生きる・  
育つ・守られる・参加する」の権利を  
保障し、平成22年度に施行。 69万円



中央小学校の体育館  
改築予定  
耐震化と児童数の増加から、  
平成21年度に実施設計。(改  
築は22年度) 500万円



子育て支援  
・妊婦健診が14回無料で拡大。  
5919万円

こんにちは赤ちゃん訪問  
生後4カ月までの赤ちゃんのいる  
家庭を訪問し、絵本のプレゼント、  
子育てのアドバイス。 90万円

# 新規事業 ピックアップ



地域安全ステーション  
1名増員し3名体制に  
時間の延長や防犯の強化。

802万円



(仮) 相見駅と周辺に  
駅の負担金と自由通路の設置  
工事、駅周辺の用地を購入。  
4億8300万円



子ども読書活動推進計画  
子どもが自主的に読書活動ができる  
環境を整えるため、計画を推進す  
る策定委員会を設置。

25万円

## 休止、削減などをした事業と金額

- 小・中学校の修学旅行補助  
金を1人あたり1000円  
の減。 101万円
- 中学生海外派遣の休止。 720万円
- 中学生の部活動補助金の減。 103万円
- 夏まつり、駅伝、風揚げ、  
健康福祉まつりの中止。 1191万円
- 町長5万円(月額)、副町  
長3万円(同)、教育長  
2万円(同)それぞれ任期  
まで引き下げ。 195万円
- 議会特別委員会の視察中止。 174万円
- 区長、交通指導員の視察を  
民営バスから町のバスに切  
り替え。 62万円





# 集中審議

## 国民健康保険税引き上げ

### 法定限度額68万円まで

#### 条例改正など

##### 国民健康保険税の引上げ 法定限度額まで

保険事業の費用負担の適正化を図るため改正された。  
**Q** 引上げ理由は。  
**A** 医療給付額の増加に耐えるため、全体で約1割の引き上げとなる。  
**Q** 減額、減免措置は。  
**A** 総所得33万円以下世帯減額拡大と非課税世帯の減免規定を追加した。  
(反対2賛成13で可決)

##### 介護保険料値上げ

国の法令改正および第4期の事業計画策定により保険料率の改正がされた。  
**Q** 基金取り崩しによる値上げ抑制は。  
**A** 5150万円を繰り入れ、値上げ幅を抑えた。  
**Q** 改正内容は。  
**A** 被保険者の保険料率を6段階から8段階にする。保険料と利用者負担の軽減額が拡大される。  
(反対2賛成13で可決)

##### 救助工作車II型の取得 契約6426万円

消防救助工作車更新の入札が2月9日に実施され、山佐産工(株)が落札した。  
**Q** 当初取得見込額9000万円との差額は。  
**A** 財政事情を考慮し、装備品の更新を見送り、継続使用することとした。  
**Q** 安全性、機能性は大丈夫か。  
**A** 随時更新するので問題はない。  
(全員賛成で可決)

##### 道の駅「合同会社・筆柿の里幸田」に

道の駅の指定管理者が法人化により、名称などが変更された。  
**Q** 役員、出資者数は。  
**A** 執行役員は11人、出資者82人で資本金700万円となった。  
**Q** レストランの委託業者は。  
**A** 公募6社の内から飲食業者が選考され、「(株)美山」として営業する。  
(全員賛成で可決)

### 審議されたその他の議案

- 個人情報保護条例の一部改正(全員賛成で可決)
- 税条例の一部改正 (全員賛成で可決)
- 愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更 (全員賛成で可決)
- 介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定 (全員賛成で可決)
- 幸田町地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正 (全員賛成で可決)
- 字の区域の設定及び変更(坂崎京ヶ峯) (全員賛成で可決)
- 町道路線の認定及び廃止 (全員賛成で可決)
- 町長等の給料の特例に関する条例の制定 (全員賛成で可決)



にぎわう道の駅

# 減収 補てん債で **8億5,000万円** 借り入れ **7億9,922万円** を積み立て

## 各会計別 3月補正予算 (▲は減)

会計区分		補正額	補正後の額
一般会計		9億7,286万円	150億6,875万円
特別会計	土地取得	(財源更正) 0円	4億9,011万円
	国民健康保険	5,563万円	27億5,842万円
	老人保健	▲9,200万円	1億8,363万円
	後期高齢者	▲1,600万円	2億3,124万円
	介護保険	2,617万円	11億9,821万円
	幸田駅前土地 区画整理事業	(財源更正) 0円	2億7,381万円
	農業集落排水事業	▲1,040万円	3億6,218万円
	下水道事業	▲6,860万円	9億3,689万円

### 一般会計

町税不足1億6000万円となったが、国・県の支出金1億8111万円などと、定額給付金を含む国庫補助金5億8249万円を追加補正した。

なお、減収補てん債で8億5000万円を借り入れ、将来の財政運営に備え、町税不足1億6000万円となったが、国・県の支出金1億8111万円などと、定額給付金を含む国庫補助金5億8249万円を追加補正した。

子育て応援特別手当は、3・4・5歳の第2子以降に1人3万6000円で、総額2400万円。

Q プレミアム付振興券の検討は。

## 平成20年度 補正予算

(全員賛成で可決)

7億9921万円を積み立てた。

定額給付金は、生活支援と地域経済対策で5億5841万円。

### 特別会計

A 商工会と協議したが、費用面から無理と判断した。

国民健康保険会計は、保険収入の追加5510万円となったが、医療給付件数の増加により給付費が、9300万円増加した。

## 陳情・請願

- 「公契約に関する基本法の制定を求める意見書の採択を求める陳情」  
(全員賛成で採択)
- 「非正規切り」防止の緊急措置と労働者派遣法の抜本改正を求める請願書  
(反対13 賛成2 で不採択)
- 「中部地方整備局の事務所・出張所の存続と地方分権改革推進委員会の第2次勧告に向けて地方分権改革に係る慎重な審議を求める請願書」(継続審査)  
(反対13 賛成2 で不採択)

## 議員提出議案

- 公契約に関する基本法の制定を求める意見書(案)の提出  
(全員賛成で採択)
- 地震防止対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の延長に対する意見書(案)の提出  
(全員賛成で採択)

